

いのち、食と農を原点に

日本共産党
参議院議員

紙 智子

国会報告



暴走政治と対決!!

震災復興・原発被害

震災から3年、被災地では復興へのねばり強い努力が行われています。生活と生業を再建する支援が急がれます。

紙議員は雇用促進住宅の無償提供の打ち切りに抗議するとともに、資金がなく自立再建できない現状を告発しました。漁業と水産加工業を一体的に整備するため、ニーズにあった対策を求めました。林芳正農水相は「新しい状況にどう対応するか。全省庁的に検討していきたい」と答えました。放射能被害に苦しむ福島県の農林水産業、子ども被災者支援を求めました。



福島農民連の政府交渉に同席

TPP・農政改革

躍進した力で発言力高まり
質問時間倍に

参議院選挙で躍進し、紙智子議員は農林水産委員会の理事になりました。発言力が高まり質問時間は倍に。農政改革法案は本会議、委員会で40分の質問を含め、9回行いました。「民間企業が障壁なく農業に参入できる時代がやってくる」という安倍農政改革。環太平洋連携協定(TPP)を推進し、農業者の意見を聞かず、農協・農業委員会の見直しを強引に進める政府をきびしく追及する紙議員に、与党議員から「その通り、政府はしっかり答える」とのヤジがとび、存在感が高まりました。



岡山県で農業調査

支援打ち切り許さず拡充を

集団的自衛権許すな



閣議決定撤回を=7月1日、官邸前行動

TPP、
農政改革で
取上げた
テーマ

大統領貿易促進権限法(TPA)、TPPで譲歩を重ねる政府の姿勢、牛肉・豚肉の日米協議、遺伝子組み換え表示、日豪EPA、米の直接支払を半減した影響、食料自給率、飼料米の生産支援、コメの需給と価格、国際家族農業年、農業と地域コミュニティー、地域ブランド表示、農協・農業委員会の見直し等…

埼玉・本庄市で豪雪被害を調査



豪雪被害

従来の枠を超えた対策を

関東甲信越地方を中心に襲った今冬の豪雪。ビニールハウスが倒壊するなど大きな被害が発生しました。紙議員はただちに調査に入り、従来の枠を超えた対策を求めました。農林水産省は初めて農業用ハウス撤去等への支援を決め、助成金の支給が遅れていた問題でも、迅速化するための通知を出しました。

政府の責任を追及

JR
北海道

紙議員は、事故が相次ぐ問題で JR 北海道の小池明夫前会長が「赤字を回避するために合理化を推進し、安全投資や修繕費用を確保しきれなかった」との発言を紹介し、合理化・効率化を求めてきたのは国だと追及。太田昭宏国交相は、「(前会長の説明は) その通りだ」と述べましたが国の責任にはいっさいふれず。

JRの安全と根生を語るシンポジウム



北海道・釧路でおこなわれた JR問題シンポジウム

医療支援、漁業支援を要求

北方
支援

根室市が「北方四島医療専門家受け入れ事業」から排除された問題や漁業経営を圧迫する漁業協力金の問題等を取り上げ、日口交渉に臨む政府の姿勢をただしました。



国後島古釜布(ふるかまっぶ)の日本人墓地にて

国は支援を打ち切るな

蚕糸業
振興

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されました。紙議員は、国が生糸業の支援を打ち切り悲鳴があがっていると告発、伝統産業・養蚕の振興を求めました。



富岡製糸場

開発で資源が激減

ニホン
ウナギ



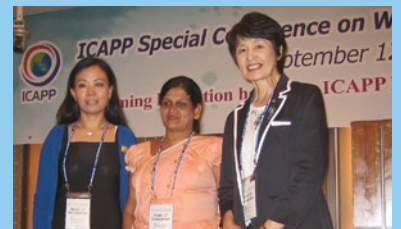
「土用の丑」として食されるウナギ。国際自然保護連合がニホンウナギを絶滅危惧種に指定し、心配されています。紙議員は霞ヶ浦開発でウナギの宝庫、利根川水系の漁獲量が激減したとし、内水面漁業の対策強化を求めました。

取上げたテーマ

豚流行性下痢、エゾジカの農業被害対策、トドの漁業被害対策、森林国営保険の移管問題、ウクライナ問題でロシアの軍事介入撤回を要求、北方四島の残置財産問題等…



消費税廃止各界連絡会と抗議行動



韓国で開かれたアジア政党国際会議



再生エネルギーを支援



欠かさず参加、TPP官邸前行動